

## 事業評価シート

事務事業名	スポーツ教室等事業	担当課名	社会教育課
総合計画の 主要施策名	生涯スポーツの充実	班 名	スポーツ振興班
		事業コード	4422

事業の目的	スポーツ教室への参加によって町民が運動する機会のきっかけになり、それを体験することで体調の維持が実感できることを自ら身をもって知り得ることから町民がスポーツをライフワークに取り入れられ、運動行為を定着化させる。			
事業の内容	ストレッチ/ニュースポーツ/ウォーキング/水泳/スキー教室開催			
事業の対象	全町民			
事業コスト	区 分	H18決算	H19決算	H20予算
	事業費 (千円)	264	527	493
	うち一般財源等 (千円)	264	527	493
	人件費 (千円)			
総コスト +	264	527	493	

事業実績・成果 (指標)	名 称	単 位	H18年度実績	H19年度実績	H20年度(予定)
	ストレッチ/ニュースポーツ/ウォーキング教室	人	304	618	850
	体力診断	回	2	2	2
	水泳/スキー教室	人	322	406	500

事業 の 評 価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
総合評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	住民が運動する喜びと体を動かすことの重要性を意識し、交流により癒されて帰っていくという健康維持効果が口コミで広がり参加者が増加傾向にある。また、アンケート結果を反映したプログラム提供が楽しさを増幅している。水泳、スキー教室については指導者数の関係から定員が限られていたが指導者側との交渉によりできるだけ申込者全員の参加に努めている。			
事業の 方向性	さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する	評価委員意見	部局評価のとおり。	